

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

Mitsubishi UFJ Morgan Stanley

Investment Research & Information

テクニカル分析

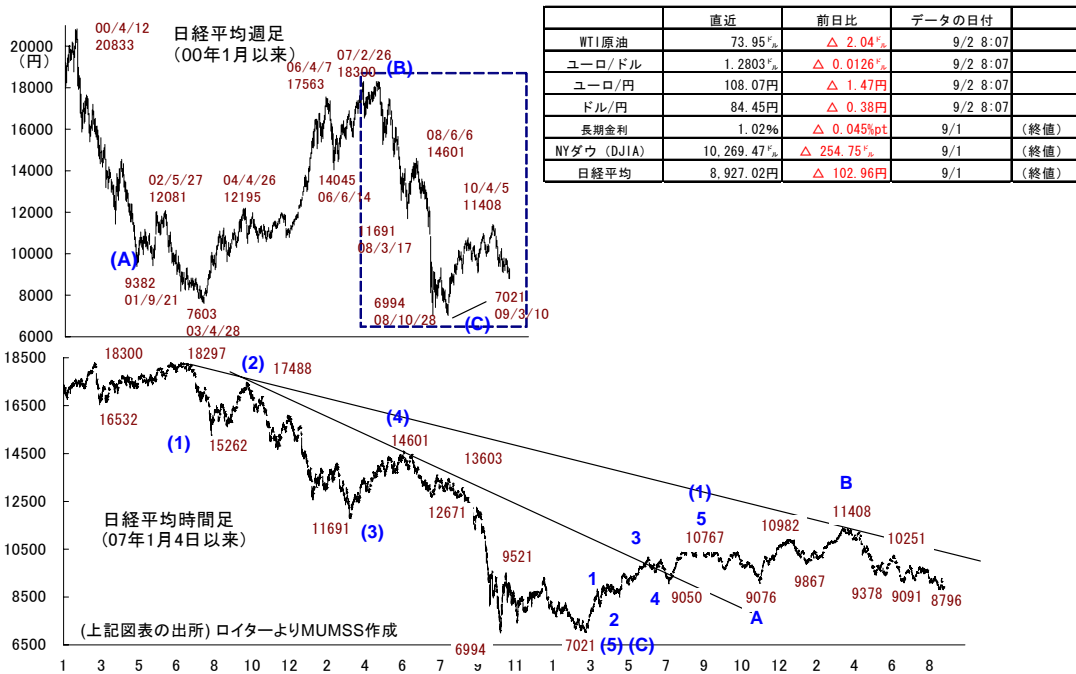
エリオット波動マーケット分析(デイリー)

2010年9月2日

チーフ・テクニカルアナリスト 宮田 直彦

エクイティリサーチ転載レポート

本資料に関するお問合せは、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の最寄の店舗までご連絡ください。



日経平均の上値抵抗: 9008-117(gap), 9280, 9362, 9445-505(gap), 9760, 9807-893(gap), 9965, 9977(38%), 10009-10105(gap), 10250(50%)-10251, 10523(62%), 10643-82(gap), 10847-65(gap), 11092, 11213, 11351, 11408, 11565-721(gap), 11691, 11773, 12000, 12458, 12647(50%), 12822, 13981(62%), 14252, 14513, 14601

日経平均の下値支持: 8796 8680(62%), 8351-449(gap), 8084, 7922, 7571-630(gap), 7100-161(gap), 7021, 6994, 6849, 6838, 6680, 6322, 6194, 5900, 5693, 5638, 5467, 5359, 5287, 5082, 5070

【WTI原油先物】

原油相場には2~3年サイクルがあり、現行サイクルは08年12月を起点とする。今年5月3日高値(87.15ドル)はサイクル・トップの可能性があり、そうであれば、10年末~11年末に向けて60ドル付近への調整局面が想定される。もうひとつの見方としては、今年5月高値からシンメトリカル・トライアングルなどの、保ち合い相場(想定レンジは68~82ドル)が進行中というもので、この場合は、年内はレンジ(想定レンジは68~82ドル)の動きに終始すると思われる。

【ユーロ/ドル】

08年7月高値・1.6038ドルからの2年間に及ぶ(A)-(B)-(C)下落局面は、6月7日安値・1.1877ドルを以って終了した可能

性が高いと考えられる(6月安値は4年サイクル・ボトム)。基本的には、今年末～来年末まではユーロ高・ドル安基調が続くと見られ、最終的に、1.3896～1.3958ドル、あるいは、1.4448～1.4691ドルなどを目指していくこととなる。

8月6日高値(1.3334ドル)からはB波の調整に入っていると見られる。1.2588ドル(8月24日安値)は、6月～8月のA波上昇に対する半値押し(1.2606ドル)を満たすものであり、水準面での調整は終わった可能性がある。ただ、B波はトライアングルなど保ち合い局面となりやすいため、今後は暫く、レンジ相場が続く可能性もある。

【ユーロ/円】

8月24日には一時105.46円までユーロ安・円高が進行し、6月29日安値(107.33円)を下回った。08年7月高値(169.98円)からの(A)-(B)-(C)パターン中、(C)波の下落局面が09年6月高値(139.21円)から引き続き進行中である。もっとも、フィボナッチ比率からのサポート価格帯(103.49～106.30円)に、8月24日の安値は入っている。また、MACDは週間ベース、日次ベースのいずれにおいても、強気ダイバージェンスを形成しており、ユーロ安・円高トレンド終了が近いことを示唆している。この先、4月5日高値(127.93円)と7月28日高値(114.73円)を通るレジスタンス・ライン(今のところ、それは110.61円にある)を上回ると、底入れしたことを示唆する。

【ドル/円】

07年6月高値(124.16円)を起点に、最終円高波動・(V)波が進行中。(V)波は、11年前半～10月頃まで続き、最終的には95年4月安値(79.75円)に接近、あるいは下回るだろう(この場合のターゲットは72～74円)。

(V)波は(1)～(5)波で構成される。(V)波が始まって以来、波動の重複が目立つが、これは(V)波自体がトレンド最終局面に頻出する、ダイアゴナル・トライアングルが展開中であることを示唆している。

09年4月高値(101.45円)からは、ドル安・円高トレンドの第(5)波に入っており、今年5月高値からは(5)波・3波である。以下に示すように、足元の円高はいつ終わっておかしくないと見られ、短期的には(5)波・4波のリバウンドがあるだろう。その上限は94.99円である。このリバウンドを経て、(5)波・5波のドル安・円高局面が生じるが、それは、1ドル=360円からの長期円高局面における、まさに最終最後の円高・ドル安となるだろう。このように、来年までドル安・円高パイアスは掛かり続けると想定されるが、その後は、15～16年に向けての長期ドル高・円安トレンドに入ると我々は予想している。

8月24日には一時83.60円と15年ぶり円高水準となった。昨年11月27日ボトムから9ヵ月が経過しており、9ヵ月サイクル・ボトムを付ける時間帯に既に入っている。さらに、ドル/円には81～84週ごとに転換点が訪れる変化サイクルがあり、87.10円を付けた09年1月21日の週から8月24日の週までは84週だった。MACDやRSIなどのオシレーターは、7月上旬からドル/円とダイバージェンスを生じており、これらもまた、ドル/円のリバウンド接近を示唆している。短期的に86.38円(8月13日高値)を上回れば、8月24日安値が9ヵ月サイクル・ボトムとの最初の感触が得られる。目先で円高がなお進めば、82.21円付近で9ヵ月サイクル・ボトムを付けるだろう。9ヵ月サイクル・ボトムを付けて以降は、ドル/円は3～5ヵ月程度のリバウンド局面となるだろう。その上値メドは、92～93円と思われる。

【10年長期金利】

10年長期金利は先週から今週にかけて大きく変動した。8月25日の0.895%から、8月30日の1.105%まで上昇したが、翌31日には0.96%まで急低下となった。8月25日に2.5年サイクル・ボトムを付けたか否かを計る上で、9月からの動きが注目される。この先0.895%を下回らず、1.105%を上回ったなら、8月25日の0.895%が、2.5年サイクル・ボトムである可能性が高い。この場合、長期金利は次に1.15～1.2%を目指すだろう。JGB先物価格は、8月25日高値(143.14円)まで上昇した。このレベルは、07年6月安値(130.76円)から08年3月高値(142円)までの(A)波と、08年6月安値(132.05円)からの(C)波が、上昇幅において等しくなるN計算値(143.29円)に近い。03年以降のミラー・チャートからは、今後145円程度まで

上昇しておかしくはないが、少なくとも、長期的な天井圏には入ったと見ることができよう。

【NYダウ工業株/DJIA・S&P500】

ダウ30は、4月26日高値から(B)波の調整が進行中とカウントしている。そして、(B)波におけるリバウンドb波は、7月2日安値(9614ドル)～8月9日高値(10719ドル)の部分であり、以降でc波の下落局面に入った可能性があると考えている。

9月1日には一時10279ドルまで上昇し、目先の注目ポイントの10209.53ドル(8月16日安値)を上回った。この動きによって、(B)波がトライアングル(a-b-c-d-e)を形成しているという見通しが、幾分強められた。8月27日安値(9936ドル)からはd波に入っており、それは短期的には200日線(現在は10452ドル)を、そして4月高値—8月高値のライン(このラインは9月2日に10587ドルに位置する)を試すと思われる。

なお、5月6日安値(9869ドル)と7月2日安値(9614ドル)のインターバルは41日、7月2日安値と8月27日安値のそれは40日である(営業日ベース、両端入れ)。8月27日から40～41日目となる10月22～25日付近に、(B)波が完了する可能性がある。

一方、今後9936ドルを割り込むと、当面は7月安値の9614ドルを試すだろう。さらに9614ドルを割り込むと、今秋にかけて9428～8299ドルへの調整があり得る。

【日経平均・TOPIX】

日経平均には、平均58週(48週～68週)ごとに底打ちするサイクルが認められる。現行の58週サイクルは昨年11月27日(ドバイ・ショック)を起点とするが、それが終了するのは10年10月3週～11年3月2週である。この期間で特に注目すべきは、36ヵ月・18ヵ月サイクルが重なる10月～11月である。4月高値信用期日も10月に到来する。

昨年11月27日(安値9076円)以来の現行58週サイクルは「弱気型」である。58週サイクル・トップは、今年4月5日の11408円ということになり、それは現行58週サイクルが終わる今秋までの高値であり続けるだろう。また、現行58週サイクルのハーフ・サイクル・ボトムは、6月9日安値(9378円)であった可能性が高い(6月9日の週は、昨年11月27日の週から29週目であり、58週のちょうど中間地点であった)。6月9日から始まった、後半ハーフ・サイクル・トップは、6月21日高値の10251円である。この見方が正しければ、10251円が今秋までの高値となるだろう。

昨年8月からの第(2)波調整は続いており、そのパターンとしてはエクспанディッド・フラット(A-B-C)と読める。今年4月高値を起点に、(2)波・C波が進行中とカウントされる。その下値レンジとしては、08年10月～10年4月の上昇に対する61.8%～78.6%押し(8680～7939円)が有力であり、それは、08年10月安値(あるいは09年3月安値)に次ぐ二番底になると見られる。なお、6月21日高値・10251円からは、(2)波・C波・5波が進行中であり、それは、ダイアゴナル・トライアングルを形成している可能性がある。MACDは5月下旬から3ヵ月にわたり、日経平均に対し強気ダイバージェンスを形成しており、日経平均の底入れ接近を示唆している。

9月1日に日経平均は一時8800円割れ(安値は8796円)となり、4月以降の安値を更新したが、大引けにかけては反発した。この動きからも、上記ダイアゴナル・トライアングルの下辺(9月1日は8767円に位置していた)や、61.8%押しレベル(8680円)などは、強いサポートであることが窺える。9月2日の朝方は買い先行で始まることが想定され、8月30日から31日にかけて生じたダウンスайд・ギャップ(9008.36～9117.87円)を試すだろう。8月30日高値(9280円)～9月1日安値(8767円)の61.8%戻り(9095円)を、今後終値で回復すれば、それ以降で指数は一段と上昇する可能性がある。

Appendix A

アナリストによる証明

本レポート表紙に記載されたアナリストは、本レポートで述べられている内容（複数のアナリストが関与している場合は、それぞれのアナリストが本レポートにおいて分析している銘柄にかかる内容）が、分析対象銘柄の発行企業及びその証券に関するアナリスト個人の見解を正確に反映したものであることをここに証明いたします。また、当該アナリストは、過去・現在・将来にわたり、本レポート内で特定の判断もしくは見解を表明する見返りとして、直接又は間接的に報酬を一切受領しておらず、受領する予定もないことをここに証明いたします。

重要な開示事項

セクター(三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(以下「MUMSS」)カバレッジ・ユニバース)に対する投資判断の定義

Overweight (オーバーウエイト)	今後6~12ヶ月の期間について、TOPIXとの比較で、当該セクターのパフォーマンスが上回るとアナリストが予想している場合
Neutral (ニュートラル)	今後6~12ヶ月の期間について、TOPIXとの比較で、当該セクターのパフォーマンスが同程度とアナリストが予想している場合
Underweight (アンダーウエイト)	今後6~12ヶ月の期間について、TOPIXとの比較で、当該セクターのパフォーマンスが下回るとアナリストが予想している場合

その他開示事項

MUMSSは、MUMSSのリサーチ部門・他部門間の活動及び／又は情報の伝達、並びにリサーチレポート作成に関与する社員の通信・個人証券口座を監視するための適切な基本方針と手順等、組織上・管理上の制度を整備しています。

MUMSSの方針では、アナリスト、アナリスト監督下の社員、及びそれらの家族は、当該アナリストの担当カバレッジに属するいずれの企業の証券を保有することも、当該企業の取締役、執行役又は顧問等の任務を担うことも禁じられています。また、リサーチレポート作成に関与し未公表レポートの公表日時・内容を知っている者は、当該リサーチレポートの受領対象者が当該リサーチレポートの内容に基づいて行動を起こす合理的な機会を得るまで、当該リサーチに関連する金融商品（又は全金融商品）を個人的に取引することを禁じられています。

アナリストの報酬の一部は、投資銀行業務収入を含むMUMSSの収益に基づき支払われます。

免責事項

本レポートは、MUMSSが、本レポートを受領されるMUMSS及びその関連会社等のお客様への情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の証券又は金融商品の売買の推奨、勧誘又は申込みを目的としたものではありません。

本レポート内でMUMSSに言及した全ての記述は、公的に入手可能な情報のみに基づいたものです。本レポートの作成者は、インサイダー情報を使用することはもとより、当該情報を入手することも禁じられています。MUMSSは株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下「MUFG」)の子会社等であり、MUMSSの方針に基づき、MUFGについては投資判断の対象としておりません。

本レポートは、MUMSSが公的に入手可能な情報のみに基づき作成されたものです。本レポートに含まれる情報は、正確かつ信頼できると考えられていますが、その正確性、信頼性が客観的に検証されているものではありません。本レポートはお客様が必要とする全ての情報を含むことを意図したものではありません。また、MUMSS及びその関連会社等は本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。本レポートに含まれる情報は、金融市場や経済環境の変化等のために、最新のものでなくなる可能性があります。本レポート内で示す見解は予告なしに変更されることがあり、また、MUMSSは本レポート内に含まれる情報及び見解を更新する義務を負うものではありません。MUMSSは関連会社等と完全に独立してレポートを作成しています。そのため、本レポート中の意見、見解、見通し、評価及び目標株価は、異なる情報源及び方法に基づき関連会社等が別途作成するレポートに示されるものと乖離する場合があります。

本レポートは、お客様に対し税金・法律・投資上のアドバイスとして提供する目的で作成されたものではありません。本レポートは、特定の個人のための投資判断に向けられたものではなく、本レポートを受領される個々のお客様の財務状況、ニーズもしくは投資目的を考慮して作成されているものではありません。本レポートで言及されている証券・関連投資は、全ての投資家にとって適切とは限りません。お客様は、独自に特定の投資及び戦略を評価し、本レポートに記載されている証券に関して投資・取引を行う際には、専門家及びファイナンシャル・アドバイザーに法律・ビジネス・金融・税金その他についてご相談ください。

MUMSS及びその関連会社等は、お客様が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる結果のいかなるもの（直接・間接の損失、逸失利益及び損害を含むがこれらに限られない）についても一切責任を負わないと共に、本レポートを直接・間接的に受領するいかなる投資家に対しても法的責任を負うものではありません。最終投資判断はお客様自身においてなされなければならない、投資に対する一切の責任はお客様にあります。

過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆し、または保証するものではありません。特に記載のない限り、将来のパフォーマンスの予想はアナリストが適切と判断した材料に基づくアナリストの予想であり、実際のパフォーマンスとは異なることがあります。従って、将来のパフォーマンスについては明示又は黙示を問わずこれを保証するものではありません。

MUMSS・その他 MUFG 関連会社、またはこれらの役員、提携者、関係者及び社員は、本レポートに言及された証券、同証券の派生商品及び本レポートに記載された企業によって発行されたその他証券を、自己の勘定もしくは他人の勘定で取引もしくは保有したり、本レポートで示された投資判断に反する取引を行ったり、マーケットメーカーとなったり、または当該証券の発行体やその関連会社に幅広い金融サービスを提供しもしくは同サービスの提供を図ることがあります。本レポートの利用に際しては、上記の一つ又は全ての要因等により現実的もしくは潜在的な利益相反が起こりうることをご認識ください。なお、MUMSS は、会社法第 135 条の規定により自己の勘定で MUFG 株式の売買を行うことを禁止されています。

本レポートで言及されている証券等は、いかなる地域においても、またいかなる投資家層に対しても販売可能とは限りません。本レポートの配布及び使用は、レポートの配布・発行・入手可能性・使用が法令又は規則に反する、地方・州・国やその他地域の市民・国民、居住者又はこれらの地域に所在する者もしくは法人を、対象とするものではありません。

英国及び欧州経済地域：本レポートが英国において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である Mitsubishi UFJ Securities International plc. (以下「MUSI」。住所：6 Broadgate, London EC2M 2AA, UK、電話番号：+44-207-628-5555) により発行されるものとして承認されています。MUSI は、英国で登録されており、Financial Services Authority (英国金融サービス機構、以下「FSA」) の認可・規制を受けている金融機関です。本レポートは、Professional Investors (プロ投資家) 向けに作成されたものであり、FSA 規則に定義された Retail Clients (リテール投資家) を対象としたものではありませんので、誤解を回避するため、同定義に該当する顧客に交付されてはならないものです。MUSI は、本レポートを英国以外の欧州連合加盟国にも配布する場合があります。本レポートは、MUSI の conflict of interest management policy (利益相反管理方針) に基づいて作成されています。投資リサーチ判断に関わる利益相反を回避する目的で、情報の物理的な遮断等実効性ある組織上・管理上の制度が整備されています。本レポートは、FSA の規則に基づきマーケティング活動の一環としてお客様へ配布される資料であり、投資判断を含むレポートの作成に係る独立性を高めるための法的要件に従って作成されたものではありません。また、本レポートは、投資判断を含むレポートに課されるレポート配布前の取引禁止規制の対象ではありません。

米国：本レポートが米国において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社である Mitsubishi UFJ Securities (USA), Inc. (以下「MUS-USA」。住所：1633 Broadway, 29th Floor, New York, N.Y. 10019, U.S.A.、電話番号：+1-212-405-7000) により発行されるものとして承認されています。MUS-USA は、United States Securities and Exchange Commission (米国証券取引委員会) に登録された broker-dealer (ブローカー・ディーラー) であり、Financial Industry Regulatory Authority (金融取引業規制機構、「FINRA」) に加入しています。本レポートの配布対象者は、1934 年米国証券取引所法の規則 15a-6 に基づく major U.S. institutional investors (主要米国機関投資家) に限定されており、本レポートは個人投資家及び non-institutional investors (非機関投資家) を対象としておりませんので、誤解を回避するため、これらの投資家に配布されてはならないものです。本レポートで対象としている証券の取引にご関心をお持ちの major U.S. institutional investors のお客様は、MUS-USA 営業担当者までご連絡ください。

日本：本レポートが日本において配布される場合、その配布は MUFG のグループ会社であり、金融庁に登録された金融商品取引業者である MUMSS (住所：〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-5-2 三菱ビルディング、電話番号：03-6213-5774) が行います。

シンガポール：本レポートがシンガポールにおいて配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社でありシンガポール政府承認の merchant bank である Mitsubishi UFJ Securities (Singapore), Limited (以下「MUS-SPR」。住所：9 Raffles Place, #01-01 Republic Plaza, Singapore 048619、電話番号：+65-6232-7640) が、Financial Advisers Regulation の規定 2 に規定される「Institutional Investors」、「Accredited Investors」、「Expert Investors」のみに対し配布いたします。本レポートは、これらの投資家のみによる使用を目的としており、その他第三者に対して配布、転送、交付、頒布すべきものではありません。本レポートに記載されている証券の取引を行う際には、前もって、法律・ビジネス・税金・その他関連事項に関してファイナンシャル・アドバイザーの助言を受けることをお勧めいたします。本レポートが「Accredited Investors」及び「Expert Investors」に配布される場合、MUS-SPR は Financial Advisers Act の次の事項を含む一定の遵守要件を免除されます。第 25 条：一定の投資商品に関してファイナンシャル・アドバイザーが全ての重要情報を開示する義務、第 27 条：ファイナンシャル・アドバイザーが投資判断をする場合、合理的な根拠によるべき義務、第 36 条：ファイナンシャル・アドバイザーが投資判断を行う証券に対して保有する権利等について開示する義務。本レポートを受領されたお客様で、本レポートから又は本レポートに関連して生じた問題にお気づきの方は、MUS-SPR にご連絡ください。

アジア地域 (日本及びシンガポールを除く)：本レポートが日本及びシンガポールを除くアジア地域において配布される場合、本レポートは MUFG のグループ会社であり、Securities and Futures Ordinance (Cap. 571 of the Laws of Hong Kong) に基づきライセンスを受け、かつ香港内で Securities and Futures Commission (以下「SFC」) により規制されている Mitsubishi UFJ Securities (HK) Limited (以下「MUS-HK」。住所：11/F., AIA Central, 1 Connaught Road, Central, Hong Kong、電話番号：+852-2860-1500) が配布いたします。香港のお客様で、本レポートやその内容に関してご質問・ご助言・ご要望等をお寄せ頂く場合、または本レポートで言及されている証券の取引をご希望される場合は、MUS-HK にご連絡ください。本レポートは、中国 (中華人民共和国「PRC」を意味し、PRC の香港特別行政区・マカオ特別行政区、及び台湾を除く) において、複製・発行・配布すべきものではありません (ただし、PRC の適用法令に準拠する場合を除きます)。

©Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co., Ltd. All Rights Reserved 2010.

国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.365% (税込) (ただし約定代金 193,000 円以下の場合には最大 2,625 円 (税込)) の手数料が必要となります。

債券取引には別途手数料はかかりません。手数料相当額はお客様にご提示申し上げる価格に含まれております。

本レポートは MUMSS の著作物であり、著作権法により保護されております。MUMSS の書面による事前の承諾なく、本レポートの全部もしくは一部を変更、複製・再配布し、もしくは直接的又は間接的に第三者に交付することはできません。

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 2-5-2 三菱ビルディング

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 エクイティリサーチ部

Tel. 03-6213-5774 Fax. 03-6213-4540

本レポートの内容に関する追加・補足情報はご希望に応じて提供いたします。

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 2336 号

（加入協会）日本証券業協会、（社）日本証券投資顧問業協会、（社）金融先物取引業協会

【重要な注意事項】

(本資料使用上の留意点について)

- 本資料は当社が信頼できると考える情報ベンダーから取得したデータをもとに作成されておりますが、機械作業上データに誤りが発生する可能性があります。当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。本資料は、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。本資料にて言及されている投資やサービスはお客様に適切なものであるとは限りません。また、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。当社は、本資料の論旨と一致しない他のレポートを発行している、或いは今後発行する可能性があります。本資料でインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、当社自身のアドレスが記載されている場合を除き、アドレス等の内容について当社は一切責任を負いません。本資料の利用に際してはお客様御自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

(利益相反情報について)

- 当社および関係会社の役職員は、本資料に記載された証券について、ポジションを保有している場合があります。当社および関係会社は、本資料に記載された証券、同証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買または売りのポジションを有している場合があります、今後自己勘定で売買を行うことがあります。また、当社および関係会社は、本資料に記載された会社に対して、引受等の投資銀行業務、その他サービスを提供し、かつ同サービスの勧誘を行う場合があります。
- 当社の役員(会社法に規定する取締役、執行役、監査役又はこれらに準ずる者をいう。)が、以下の会社の役員を兼任しております。:安藤建設、ディップ、カゴメ、三菱総合研究所、寺岡製作所、三菱UFJフィナンシャル・グループ、東京海上ホールディングス、三菱倉庫

(外国株に関する注意事項について)

- 外国株式に関する資料は、Form 10-K 等当該外国法に基づく「有価証券報告書」と同等の公的書類、年次報告書(Annual Report)、四半期報告書、アーニングリリース等の会社発表による公開情報をもとに作成しております。当社によるレーティング、投資判断、業績予想等は含みません。また、データの取得・入力時期の違い等により、本資料と外国証券情報の数値等が異なる場合があります。
- 本資料で取り上げられている外国証券は、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示は行われておりません(金融商品取引法上の情報開示銘柄を除く)。当該外国証券の開示情報は、主要取引所の所在する国の開示基準に基づいています。

(リスク情報について)

- 日本および外国の株式・債券への投資は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動等により、投資元本を割り込むリスクがあります。**

(手数料について)

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対し最大1.365%(税込み)の売買手数料をいただきます(ただし約定代金が193,000円以下の場合には最大2,625円(税込み))。株式は、株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式の売買取引には、現地委託手数料と国内取次手数料の両方がかかります。現地委託手数料は、約定代金に対して最大0.5%の手数料、国内取次手数料は、約定代金に対して最大0.84%(税抜0.80%)の手数料が必要となります。外国株式は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

(著作権について)

- 本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

Copyright 2010 Mitsubishi UFJ Morgan Stanley Securities Co.,Ltd. All rights reserved.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビルヂング

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 投資情報部

(商号等) 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号

(加入協会) 日本証券業協会、(社)日本証券投資顧問業協会、(社)金融先物取引業協会